【新聖歌468】やがて天にて

- 1. 御国に住まいを 備えたまえる 主イエスの恵みを ほめよたたえよ
 - ※やがて天にて 喜び楽しまん 君にまみえて 勝ち歌を歌わん
- 3. もろとも勤しみ 励み戦かえ 栄えの主イエスに まみゆる日まで
- 4. 目標(めあて)に向かいて 馳せ場を走り 輝く冠を 御殿(みとの)にて受けん

【 主のいやしの川が 】

C CM7 C6 C7 Dm Dm7 Dm7 G 主のいやしの川が 世界に流れゆく C CM7 C6 C7 Dm7 G C その流れは豊か 泳げるほどに

主のいやしの川が 世界に流れゆく その流れはいのち すべてが生きる

F G Em Am すべてが生きる すべてが生きる Dm7 G C C7 この川の流れゆくところ すべてが生きる すべてが生きる この川の流れゆくところ

【 御前に行き 】

 C
 F
 G
 Em Am

 御前に行き
 ひざまずき

 Dm
 G
 C

 ほめ歌を歌おう
 心から
 F
 G
 Em Am

 御前に行き
 全てを捧げ
 Dm
 G
 C

 感謝ささげ
 祈りささげ
 たたえます

5 祈りのガイドライン

- 1. 賛美と感謝の祈り
- 2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
- 3. 個人的な願いの祈り
- 4. とりなしの祈り
 - ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
 - ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
 - □教会員とご家族の養いと導きと守りのため。
 - □魂の救いと地域の伝道のため
 - □インターネット YouTube が用いられるように。
 - □病いや困難と闘っている兄弟姉妹のため
 - □ライフアートスタジオ…ウクレレ教室/キッズ英語教室/モンテッソーリ教室のため
- 5. 日本と世界の平和を願って...
 - □日本の国の霊的回復とリバイバルのため
 - □世界の平和とコロナからの回復のため
 - □イスラエルの平和のため
 - □2021年が主の平安と将来と希望に溢れますように!

主よ、私を、みことばを中心に、深くあなた(神様)を思う者とさせてください。

主よ、私を、自分のいのちを懸(架)けてでも、家族・親族を救い出す愛の人とさせてください。

主よ、私を救い出すために、キリストがどれほど激しい苦しみと涙と従順を学び、いまも執り成してくださっているかをわきまえた者とさせてください。

そして、キリストに倣う者とさせてください。

瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899 牧師:倉知契 kei.kurachi@gmail.com



祈りの小径(こみち)

Number:046 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せとものの 街の名所「**窯垣の小径**」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

2 今日の聖書のことば ゆっくり読んで黙想しましょう。

詩篇110篇1~7節 ダビデの歌

1 主はわが主に言われる、「わたしがあなたのもろもろの敵をあなたの足台とするまで、わたしの右に座せよ」と。2 主はあなたの力あるつえをシオンから出される。あなたはもろもろの敵のなかで治めよ。3 あなたの民は、あなたがその軍勢を聖なる山々に導く日に心から喜んでおのれをささげるであろう。あなたの若者は朝の胎から出る露のようにあなたに来るであろう。

4 主は誓いを立てて、み心を変えられることはない、「あなたはメルキゼデクの位にしたがってとこしえに祭司である」。

5 主はあなたの右におられて、その怒りの日に王たちを打ち破られる。6 主はもろもろの国のなかでさばきを行い、しかばねをもって満たし、広い地を治める首領たちを打ち破られる。7 彼は道のほとりの川からくんで飲み、それによって、そのこうべをあげるであろう。

創世記14章17~20節

17 アブラムがケダラオメルとその連合の王たちを撃ち破って帰った時、ソドムの王はシャベの谷、すなわち王の谷に出て彼を迎えた。

18 その時、サレムの王メルキゼデクはパンとぶどう酒とを持ってきた。彼はいと高き神の祭司である。

19 彼はアブラムを祝福して言った、

「願わくは天地の主なるいと高き神が、

アブラムを祝福されるように。

20 願わくはあなたの敵をあなたの手に渡されたいと高き神があがめられるように」。

アブラムは彼にすべての物の十分の一を贈った。

黙想(Life Art Meditation) の時間 (感じたこと・恵まれたことをノートします)

ヘブル人への手紙7章21~25節

21 この人の場合は、次のような誓いをもってされたのである。すなわち、彼について、こう言われている、「主は誓われたが、心を変えることをされなかった。あなたこそは、永遠に祭司である」。
22 このようにして、イエスは更にすぐれた契約の保証となられたのである。
23 かつ、死ということがあるために、務を続けることができないので、多くの人々が祭司に立てられるのである。
24 しかし彼は、永遠にいますかたであるので、変らない祭司の務を持ちつづけておられるのである。
25 そこでまた、彼は、いつも生きていて彼らのためにとりなしておられるので、彼によって神に来る人々を、いつも救うことができるのである。

4 みことばの解説

前回に引き続き詩篇110篇に隠された奥義を分かち合います。聖書全体がどんなに優れた書物であるかを知り、ダビデの神様との交わりがどんなに親密であり、それがまた預言的であったかに感動します!

今日のポイント

- ダビデは旧約聖書を熟知していた
 - →交わりの真ん中に聖書(みことば)があった
 - →信仰のルーツを知り、お手本(モデル)を持つ大切さ
- ② アブラハムの決死の親族(ロト)救出作戦は 約束の成就に深く関係していた
 - →アブラハムの祝福のポイントは3つ
 - 1. 出発進行 2. 愛の犠牲 3. 真の従順
 - →神出鬼没!サレム(平和)の王でありいと高き祭司 メルキゼデクは誰だったのか?ダビデの瞑想…
 - →十分の一の捧げ物をした事実と祝福の順序!
- 永遠の大祭司イェス・キリストは、いまも生きて (神の右の座におられて/敵の王たちを打ち破り) とりなしてくださっている!救いのため!

ヘブル書5章5~10節

5 同様に、キリストもまた、大祭司の栄誉を自分で得たのではなく、「あなたこそは、わたしの子。きょう、わたしはあなたを生んだ」と言われたかたから、お受けになったのである。6 また、ほかの箇所でこう言われている、「あなたこそは、永遠に、メルキゼデクに等しい祭司である」。7 キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれられたのである。8 彼は御子であられたにもかかわらず、さまざまの苦しみによって従順を学び、9 そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、10 神によって、メルキゼデクに等しい大祭司と、となえられたのである。

弱さを知り、全き従順をもって「永遠の大祭司」となられたキリストが私たちの「執り成し手」なのです!